

【三大学病院合同】呼吸器内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

【概略】本プログラムは中九州三大学（熊本大学、大分大学、宮崎大学）の医学部附属病院を中心に、関連医療機関と協力して、全国に通用する高い臨床能力・研究能力・指導力を有する呼吸器内科の専門医の養成をおこなうものです。

概略としては、卒後4年目に日本内科学会認定内科医を取得することを目標に、内科全般の診療能力と基本手技を習得し、続いて呼吸器専門医取得を目標として、日本呼吸器学会認定施設を中心に専門修練を継続します。最短で卒後7年目に呼吸器専門医の取得が可能となります。さらに、並行して呼吸器内科に関連が深いサブスペシャリティとして気管支鏡専門医、感染症専門医、アレルギー専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医の取得を目指した研修を行うことや、総合内科専門医、ICD や抗菌薬適正使用認定医・指導医を取得することも可能です。

研究面においては、大学院進学や臨床研究を行うことにより医学博士の学位取得を目指すことができます。社会人大学院制度を利用して、専門医と学位の両方の取得を目指すことも可能です。

【特徴】本プログラムは各大学呼吸器内科専門修練プログラムを相互補完・発展させたものであり、プログラムに参加される皆様により質の高い研修、多様な研修を行っていただけるよう配慮しています。また、指導医も三大学合同で指導医講習会、講演会等で研修・交流を行い、研鑽を重ねることにより、大学相互間・関連病院間全体での診療および指導の質の向上を図ります。さらに、シミュレーター実習やテレビ会議システムを取り入れ、質の高い臨床研修を行うことができる環境を整備しています。

2. 研修目標

【一般目標】

- 1) 医師として内科全般の基本的知識と手技を身につける。
- 2) 患者や家族との円滑かつ適切なコミュニケーションがとれる能力を養う。
- 3) 呼吸器疾患に対する専門的な理解を身につけ、正確な診断を行い適切な治療法を選択する能力を修得する。他診療科からのコンサルテーションに対応し、問題解決できる能力や、初期臨床研修医を指導できる能力を身につける。
- 4) 臨床研究あるいは基礎的研究を行い、学会発表や論文にできる能力を修得する。
- 5) オリジナリティーの高い研究成果を国内、世界に向け発信し、医学・医療に貢献する。

【行動目標】

- 1) 内科各領域の主要疾患に関する知識、手技を身につけ、診療経験を積む。
- 2) カンファレンスでの症例提示、研究会、学会等での症例発表を行い、問題解決、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を高める。
- 3) 呼吸器疾患全般に関し、学会研修カリキュラムに沿って必要な知識、手技、診療経験を身につけ、呼吸器専門医を取得する。
- 4) 臨床研究を行い、その成果について学会発表、論文投稿を行う能力・技術を習得する。
- 5) 呼吸器内科サブスペシャリティを意識した研修および研究を開始し、その領域での専門医取得を目指す。
- 6) 専門領域の能力をさらに高めるため大学院に進学、国内あるいは海外に留学し研鑽を積む。

3. 研修スケジュール

研修開始時に所属する医局（熊本大学、大分大学、宮崎大学）を選択し、入局する形をとる。

3年次から4年次は認定内科医取得のための研修を、大学附属病院又は関連病院で行う。各大学の特色を活かした合同でのカンファレンス、セミナー、シミュレーション研修、および短期間の交流研修等を実施しており、幅広い研修が可能となっている。最短で4年次に日本内科学会認定内科医が取得可能である。

4年次から7年次は呼吸器専門医取得を目指し、大学附属病院（中九州三大学呼吸器内科）、あるいは関連施設である研修病院で研修を行う。各人の専門性や志望に合わせ、大学院進学、三大学相互での研修、あるいは国内の医療・研究機関への研修・留学の組み入れにも対応する。

3年目～凡そ10年目（代表例を示したものであり、詳細は個人の状況により変化することがあります）

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目以降
専門医資格等 （最短の場合）		内科 認定医		気管支鏡 専門医	★	がん薬物 療法専門 医		
A	大学又は 関連施設	関連施設	大学又は関連施設			関連施設		
B	大学又は 関連施設	大学院				大学または関連施設		海外留学
C	大学又は 関連施設	大学院				海外留学		大学または関連 施設
D	大学又は関連施設		国内留学		大学又は関連施設		関連施設	

★呼吸器専門医、感染症専門医、アレルギー専門医、総合内科専門医

尚、大学病院や関連施設においては研修年次の進行に伴い、研修の一環として学生・初期研修医・専門
修練医など後進の指導にもあたっていただきます。

4. 評価

研修中は各研修施設での研修評価を行う。目標レベルに到達したかどうかポートフォリオを使用し、フ
ィードバックすることにより形成的評価とプログラム検証を行い、高いレベルでの研修を行う。
認定内科医および各種専門医の研修に関しては学会研修カリキュラムに準じた評価を原則とする。

5. 募集人員 熊本大 10名、 大分大 9名、 宮崎大 5名

6. 実施責任者

興梠 博次（熊本大 教授）、 門田 淳一（大分大 教授）、 中里 雅光（宮崎大 教授）

7. 指導責任者

税田 直樹（熊本大 准教授）、 時松 一成（大分大 講師）、 松元 信弘（宮崎大 助教）

8. 待遇等について

各大学病院では医員（附属病院非常勤医師）としての採用になりますが、外勤により収入面はカバー可能
です。関連病院では、その病院での規定に基づく役職・給与体系での採用となります。（詳しくは入局希望
の各大学医局にお問い合わせください。）

9. 関連施設、学会認定状況

	日本呼吸器学会認定施設	日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本内科学会		日本感染症学会認定研修施設	日本臨牀腫瘍学会認定研修施設	日本アレルギー学会(準)認定教育施設	
			認定教育施設	認定教育関連施設				
熊本大学	熊本大学	○	○	○		連携	○	○
	熊本市民病院	○	○	○			○	
	熊本中央病院	○	○	○			○	
	熊本市医師会 熊本地域医療センター	○	○					
	熊本赤十字病院	○		○			○	
	国立病院機構 熊本医療センター	○	○	○			○	
	済生会熊本病院	○	○	○		○	○	
	NTT 西日本九州病院	○			○	連携	○	
	熊本労災病院	○		○				
	八代総合病院							○
	国立病院機構 熊本再春荘病院	○	○		○		○	
	公立玉名中央病院	○						
	山鹿市民医療センター							○
	国立病院機構熊本南病院	○						
	水俣市立 総合医療センター	関連				連携		
	上天草総合病院	○						
	公立多良木病院	関連				連携		準認定
	宮崎県立延岡病院	○					○	○
大牟田天領病院								
大分大学	大分大学	○	○	○		○	○	○
	大分県立病院	○	○	○		○	○	
	国立病院機構 大分医療センター	○	関連		○			
	大分県厚生連鶴見病院	○	○			○		
	大分医師会立 アルメイダ病院				○			
	大分中村病院	関連			○	○		
	国立病院機構西別府病院	○				○		

大分大学	大分赤十字病院	○			○	○		
	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	○	○	○				
	長門記念病院	関連	○			○		
	国立病院機構 別府医療センター				○	連携		
	宮崎大学	○	○	○		○	○	
宮崎大学	国立病院機構宮崎東病院	○			○	○		
	宮崎県立日南病院		○		○			
	市民の森病院							
	千代田病院							

10. 連絡先

熊本大学 熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器病態学 (呼吸器内科)

藤井 一彦 (医局長)

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1

TEL: 096-373-5008, FAX: 096-373-5012

E-mail: k-fujii@kumamoto-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.respir-med.kumamoto-u.com/>

大分大学 大分大学医学部総合内科学第二講座

時松 一成

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL: 097-586-5804, FAX: 097-549-4245

E-mail: issei@oita-u.ac.jp

大分大学医学部総合内科学第三講座

安東 優

TEL: 097-586-5814, FAX: 097-549-6502

E-mail: mando@oita-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.med.oita-u.ac.jp/kokyuki/>

宮崎大学 宮崎大学医学部第三内科

有村 保次 (呼吸器疾患担当チーム)

山口 秀樹 (医局長)

TEL: 0985-85-2965, FAX: 0985-85-1869

E-mail: yasuji@fc.miyazaki-u.ac.jp (有村 保次)

yamahide@med.miyazaki-u.ac.jp (山口 秀樹)

ホームページ: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/3naika/>